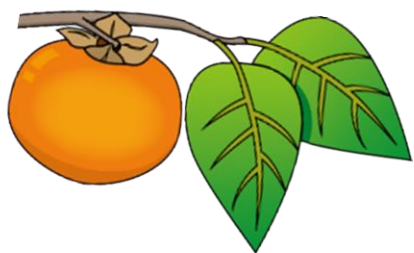


新田だより

10月

豊中市立新田小学校
R4(2022).10.3



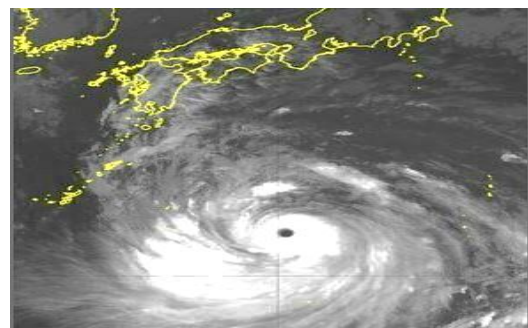
九月に発生した台風は週末ごとに列島各地に被害を及ぼしていた感がありますが、保護者の皆様方はいかがお過ごしでしょうか。

台風関連の学習として、子どもたちは、四年生時に「天気と気温」や、「雨水のゆくえ」を、五年時には、「天気と情報(1)」の「天気の変化」や「天気と情報(2)」の「台風と防災」を学んでいます。

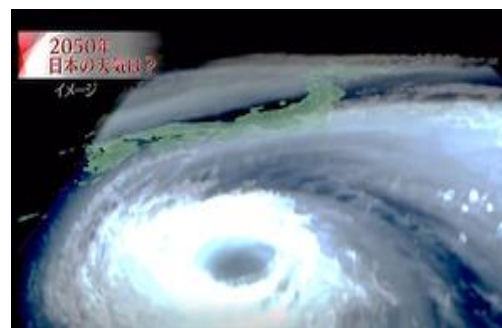
子どもたちは、台風予測の報道にある「ヘクトパスカル」、「風速〇〇m」、「熱帯低気圧」、「温帯低気圧」などの用語は実感的な理解が難しいようです。しかし、台風発生メカニズムは知らないまでも子どもたちはSDGsの学習から、「台風の発生」と「地球温暖化」には何かしら関係があることは知っています。

この「地球温暖化」にかかわって、国連の世界気象機関は「2050年の天気予報」を公開しています。世界各国がこのまま何の対策も採らずにCO₂を排出し続ければ2050年には海面温度が2℃上昇し、風速70m、895ヘクトパスカルという「スーパー台風」が起こり得るとしています。この「スーパー台風」は、未曾有な被害をもたらした「昭和の3大台風」以上の甚大な被害をもたらします。

このような情報を子どもたちの発達段階に応じて提供し、疑問点を出し合いながら考える活動を行い、論理的思考力を磨きたいと考えています。また、地球環境に関心を持ち行動する「SDGs」や「ESD」関連の学習にも注力して子どもたち一人ひとりの人間力をさらに高めたいと存じます。



R4.(2022).9 猛烈な台風 14号



2050.9 スーパー台風の目
(NHK2050年の天気予報より引用)

さて、台風が去った後は、一転して涼しくなり、空には翳雲が浮かぶなど本格的な秋の到来を感じます。業間には、運動場に出て思いっきり身体を動かし遊ぶ子どもたちの姿が多くみられるようになりました。

学校ではコロナ禍で見合わせていた宿泊行事と教室での授業参観を再開しました。

九月中旬の授業参観では、参観者数の制限と参観時間を分散し実施いたしました。少しでもお子さまの頑張っている様子をお伝えできたなら幸いです。教室での授業参観は、子どもたち、教職員にとり久しぶりであり、良い意味での緊張感をもちながら授業に臨むことができました。参観へのご理解とご協力をいただきありがとうございました。

修学旅行へ行ってきます！



10月6日（木）7日（金）

六年生が、「行ってきます集会」で、全校児童が折った折り鶴を披露しました。

新田小学校の代表として原爆の子の像に折り鶴を捧げ、平和の担い手として平和な社会を築いていくことを宣言します。

平和公園では、グループに分かれ、ボランティアガイドの説明を聴きながら碑巡りをするになっています。

武器をもって戦う戦争や侵略を無くすことは勿論のことですが、平和な社会を創るために、最高学年として、自分はどのように行動していくのか等、平和の担い手としての役割を考え、平和学習の総括をしてくれることを期待しています。



林間学舎へ行ってきます！ 10月26日（水）27日（木）28日（金）



五年生が、二泊三日で鉢伏高原へ行き秋の自然体験を行います。ハチ高原の美味しい空気を体いっぱい吸い込んで、高原の散策を始め、山登り、キャンプファイヤー、飯盒炊飯等々、体験活動をおこないます。

三日間、学校や家族を離れて、集団生活をするなかで、友だちと協力し合うことや助け合うことの大切さを学ぶ良い機会にしたいです。

第70回豊中市連合音楽会に参加！ 10月26日（水）

毎年、豊中市文化芸術センターで開催される豊中市連合音楽会に四年四組の児童が学校代表として出演します。

本音楽会は、市内41小学校を3分割し開催されていますので三年に一度、出演の機会が巡ってきます。

当日、歌う楽曲は、「世界がひとつになるまで」です。

音楽の時間に練習した成果をそんぶんに発揮し楽しんでほしいです。

お知らせ



全国学力学習状況調査結果

今年度、六年生が参加した「全国学力・学習状況調査」の結果概要が文部科学省から示されました。また、同日に五・六年生が参加した「すくすくウォッチ」の結果概要も大阪府教育庁から送られてきましたのでお知らせいたします。

「全国・学力学習状況調査」（国語・算数・理科）

○全体の傾向

正答数の分布は多い側に集中し、正答率については、3教科共に全国平均正答率を上回った値を示しており良好といえます。また、3教科共に無回答率も全国平均を下回っており、粘り強く問題に取り組む姿勢も見られました。

○よくできている点

国語では、「思考・判断・表現」の区分における、「読むこと」について特に良好な数値を示しており、メタ認知力を高める「振り返り活動」やプレゼンテーション力を高めるための日頃の学習活動の成果が伺えます。

算数では、どの領域の結果も概ね良好ですが、「図形」「変化と関係」の領域については特に正答率が高く、学習内容を概ね理解しているといえます。

理科では、どの領域の結果も概ね良好ですが、「粒子（化学領域）」を柱とする領域については特に正答率が高く、学習内容を概ね理解し定着が進んでいます。

○課題のある点

国語、理科において、記述式の問題は全国平均と比較すると高い数値を示していますが、他の問題と比べて正答率が低い結果となっています。普段の学習の中で、目的や意図に応じて、理由を明確にしながら、自分の考えが伝わるように言葉や数を用いて書く活動をさらに充実させていく必要があります。

大阪府すくすくウォッチ結果



○五年生（国語・算数・理科）

3教科とも正答数の分布は多い側に集中し、正答率については、3教科とも大阪府平均を上回った値を示しており良好といえます。

○五・六年生（わくわく問題）

児童にとり身近な「大阪湾」を題材とし、基礎的な読み取りの力を問うとともに、読み取った内容に基づいて思考し、自分の意見を持つ態度を育てることを目的とした問題は正答率が高く、大阪府の平均値と比べても高い数値となっています。本校で、すでに取り組んでいるSDGsの「目標14：海の豊かさを守ろう」と関連した情報を提示することで、身近な産業と環境との関わりに気付き、社会問題に対する意識の向上につなげてほしいというメッセージが込められた問題となりました。

また、分類・区分別集計結果においては、「文章から読み取る」「会話から読み取る」「図や表から読み取る」という区分の正答率について良好な数値を示しており、「問題をとらえる」という分類で児童たちの積極的な姿勢が伺えます。

SDGsの視点を取り入れた日頃の学習活動において、地球規模の課題をとらえ、今自分たちの生活のなかで自分事として捉え、できることを考え行動し、まとめ、発表する学習活動の積み重ねが成果につながっていると考えます。